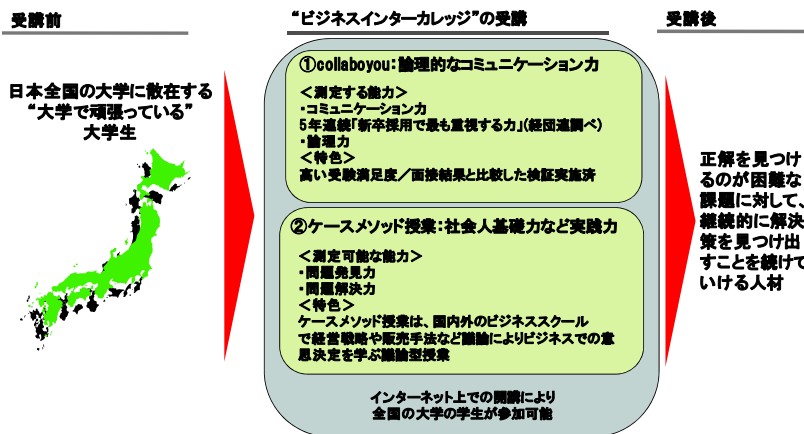


Business Inter collage Case Study:2007

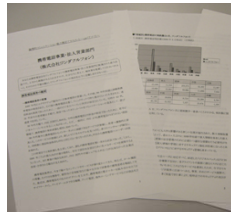
株式会社テレコンサービス
港区赤坂2-19-8赤坂2丁目アネックス3F
TEL:03-5549-2117 FAX:03-5549-2118
E-mail:bd@telecon.co.jp

◆ビジネス・インカレの概要

大学で得られた知を
社会で通用する解決策として
利用できるのかを「試合形式」で試す場所

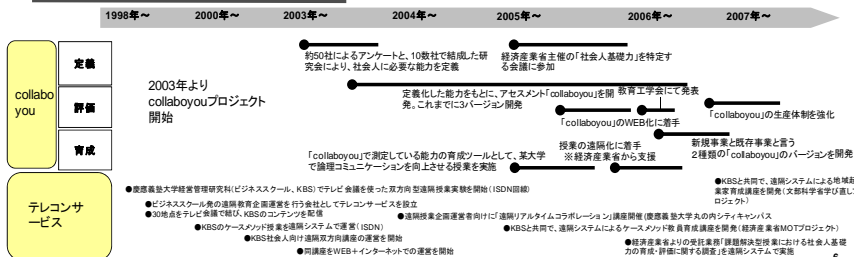


インターネット上での開講風景



コミュニケーション測定ツール
collaboyou

collaboyouプロジェクト、テレコンサービス沿革



◆ビジネス・インカレ導入(2007年)のメリット

2007年の先行導入では、ビジネス・インカレに参画、“試合をして”頂いた学生の皆様とビジネス・インカレの様様を“観戦して”頂いた企業の皆様双方から高い評価を頂きました

【学生の皆様の評価】

- ・新しい経験で新鮮で、部屋にいながら複数の人と会話できる不思議な感覚を受けました
- ・見ず知らずの他人とのグループディスカッションは、自分では考え付かないような意見が聞けて勉強になった
- ・私のような地方に住む大学生にとっては、今回のように機会はいへん貴重です。
- ・暖かい雰囲気がとてもやりやすかったです。

【企業の皆様の評価】

- ・定量的に採用予定者の実践能力が見えるのは非常に人事担当者にとっては助かる。こちらの事業内容など更に採用者に対して情報発信できる機会を増やしたい

ビジネス・インカレは、1998年から経営大学院と連動したインターネット上での社会人向け遠隔教育を推進してきた弊社株式会社テレコンサービスが、新卒大学生・大学院生向けに「実践力の教育」と「キャリアパス」を同時に提供することを目的とした全く新しいコンセプトによるプログラムです。

<大学に居ながら学べる・競い合う>

ビジネス・インカレは、体育会における“インカレ”のビジネス版です。参加者は、全国の大学生。また、インターネット上で開講することで大学の授業を欠席することなく大学の教室や自宅から参画することが可能です

<学生が無料で学べる>

ビジネス・インカレは、実践力を試す「試合」ですので、費用は試合を観戦するお客さまから頂きます。選手である学生の皆様には「観る価値のある試合」をお願いするだけで、参加費などをビジネス・インカレに参加する学生から頂くことはありません

<問題発見力や課題解決力を学ぶ>

ビジネス・インカレは、約7回の授業(2ヶ月間)の形式で行われます。授業は講義形式ではなく、「ケース教材」という現実の状況が書かれた冊子をもとに議論しながら、実際の現場における問題を発見、その課題解決方法を考える「ケースメソッド」と呼ばれる教育手法です。この方式は、1930年代に米国ハーバード大学で発展、現在は国内外の数多くの経営大学院(ビジネススクール)で行われている教育手法です

<自分が持つ実践力が分かる>

ビジネス・インカレ終了後には、ビジネスの現場での実践力がわかります。社会で最も必須とされているコミュニケーション力は、慶應義塾大学SFC研究所プラットフォームデザインラボの研究者により開発されたコミュニケーション力測定ツールであるcollaboyouにより測定されます。社会人基礎力とされる実践力は、テレコンサービスがこれまでのケースメソッド教育の経験から「チームワーク」や「企画立案力」など測定能力別にケース教材を選択、その組み合わせとコンピテンシー評価により測定されます

Business Inter collage Case Study:2007

株式会社テレコンサービス
港区赤坂2-19-8赤坂2丁目アネックス3F
TEL:03-5549-2117 FAX:03-5549-2118
E-mail:bd@telecon.co.jp
担当・松澤、高橋

◆ビジネス・インカレ2007 “試合”内容

第1回「学ぶ日」:12月4日(火)18:00～

ケース(1)「宇宙脱出」/チーム協働力発揮の演習

ビジネスの最前線で数多く言われる極限という言葉。これを地球滅亡直前という極限状況において誰を助けるかということグループで議論を行い結論を導きます。意思決定の難しさを体感できます。

ビジネス最前線からのメッセージ(1) _____ブランドはどのように創られるのか？

プライベートブランド開発責任者 H 本部長

第2回「学ぶ日」:12月7日(金)18:00～

ケース(2)「白内障の犬」/解らない課題に対して自らの主張を的確に伝える

ビジネスの最前線では、善意から出た行動が相手の利益をそくなってしまいうケースが数多いです。当事者はどのように自分の考えを的確に伝えるかを実践します。

ビジネス最前線の紹介(2) _____新規事業はどう立ち上がる？

スイーツ商品開発部 Y 部長

第3回「学ぶ日」:12月11日(火)18:00～

ケース(3)「健康エコなってホントに健康？」/情報の評価と判断/倫理観の醸成

体に脂肪が付きにくい油で人気の「健康エコナ」。しかし、国は食品健康影響安全性の調査を命令しました。新しい情報を得たときにヒトの評価や判断、行動がどう変化するのか。消費者、メーカーなど様々な立場から意思決定とは何かを考えます。

ビジネス最前線の紹介(3) _____企業に求められる社会貢献の最前線とは？

環境・社会貢献部 T 部長

第4回「実践の日」:都合の良い時に受講

collaboyou

社会で必須とされる論理的なコミュニケーションに関して貴方の現在の能力を測れます。WEB上で都合の良い時間に受けてください。所要時間は60分。ロールプレイングゲーム方式でビジネス現場を体験しながら問題を解いていく形式の試験です。

第5回「学ぶ日」:12月14日(金)18:00～

ケース(4)「森田支配人の決断」①/分析力・論理力訓練/企業経営の基礎を知る

ホテルの再建を考えます。これまで全く別の仕事をしてきた森田氏は、ホテルの支配人に就任せざる得ない状況に追い込まれています。ホテル再建策の議論を通じて企業の実態に接近するとともに、少ない資源をどのように活用して最大の効果を上げるかという経営の難しさを体感します。

ビジネス最前線の紹介(4) _____モノを運ぶことの最前線とは？

SCM開発部 G 部長

第6回「学ぶ日」:12月18日(火)18:00～

ケース(5)「森田支配人の決断」②/説得力訓練/社会人のキャリアを考える

第5回と同じくホテルの再建を今後は森田支配人のキャリアとして考えます。ずばり、転職すべきか、残留すべきかです。個人のキャリア形成が注目されている今日、個人は会社とどのような関係を持ち、更には自分の人生設計をどのように立てるのか、主人公の立場になり考えます。

ビジネス最前線の紹介(5) _____当社が求める人材とは？

人事部採用グループ H マネージャー

第7回「実践の日」:12月25日(火)18:00～

地域共生型SC立ち上げ時に起こる問題の解決策を検討する

大型ショッピングモール立ち上げ時に起こりうる問題についての解決策を参加者で議論形式で検討します。

◆ビジネス・インカレ2007 参加者“試合”結果

番号	氏名	学校名	学部	学年	論理的なコミュニケーション力/collaboyouによる測定		社会人基礎力/コンピテンシー評価による測定																	
					総合評価	詳細評価	前に踏み出す力		考え抜く力		チームで働く力													
							主体性	働きかけ	課題発見	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握	規律性								
1	Aさん	I大学	経営情報学専攻	3年	CLEAR	GREAT	GREAT	GREAT	Yes	Yes	Yes													
3	Cさん	I大学	経営情報学専攻	3年	CLEAR	GREAT	GREAT	GREAT	Yes	Yes	Yes													
4	Dさん	I大学	経営情報学専攻	3年		GREAT	GREAT	GOOD			Yes										Yes	Yes		
5	Eさん	A大学	社会学専攻	4年		GREAT	GREAT	GOOD	Yes	Yes														
6	Fさん	A大学	地球科学専攻	3年	CLEAR	GREAT	GREAT	GREAT	Yes		Yes											Yes	Yes	
7	Gさん	A大学	図書館学専攻	4年		GREAT	GREAT	GOOD			Yes											Yes	Yes	Yes
10	Jさん	B大学	総合政策学専攻	2年	CLEAR	GREAT	GREAT	GREAT	Yes	Yes												Yes	Yes	Yes
16	Pさん	D大学	経営情報学専攻	3年		GOOD	GOOD	GREAT	Yes	Yes	Yes			Yes									Yes	Yes
17	Qさん	G大学	教育学部専攻	3年		GOOD	GREAT	GREAT		Yes	Yes												Yes	Yes